

CORONA

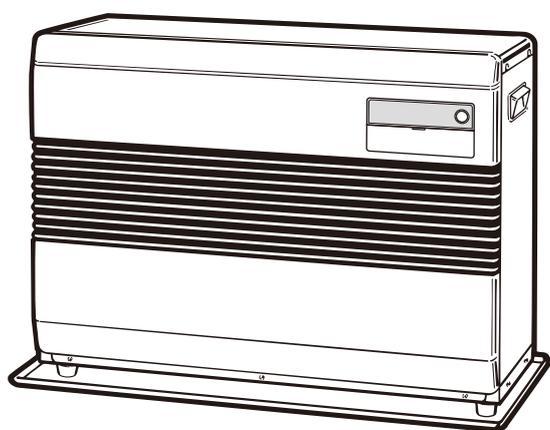
コロナ密閉式石油ストーブ

取扱説明書

〈保証書付〉保証書は裏表紙に印刷されています。

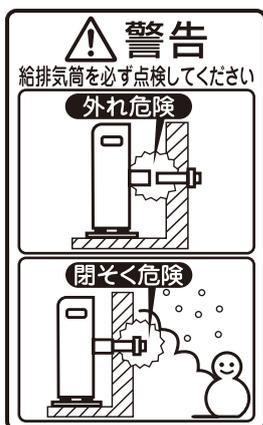
正しく使って上手に節約

型式 エフエフ ビー エイチ **FF-B58H・FF-74H・FF-B74H**
FF-100H・FF-B100H・FF-B110H 〈業務用〉



このたびは、コロナ石油ストーブをお買いあげいただき、まことにありがとうございました。正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

なお、お読みになった後もお使いになる方がいつでも見られる所に大切に保管してください。



もくじ

	ページ
1 特に注意していただきたいこと (安全のために必ずお守りください) — 1~3 * 灯油の廃棄について — 3	3
2 使用する場所 — 3	3
3 各部のなまえ — 4~6 ● 外観図・構造図 — 4 ● 操作部・表示部 — 5~6	4~6
4 使用前の準備 — 7~8 ● 燃料 — 7 ● 給油 — 7~8 ● 点火前の準備と確認 — 8	7~8
5 使用方法 — 9~13 ● 点火 — 9 ● 室温の調節 — 9 ● 消火 — 10 ● 現在時刻・現在曜日の合せかた — 10 ● タイマーの使用法 — 11~12 ● チャイルドロック — 12 ● 自己診断モニターについて — 13	9~13
6 安全装置 — 14	14
7 その他の装置 — 14	14
8 日常の点検・手入れ — 15~17	15~17
9 定期点検 — 17	17
10 故障・異常の見分け方と処置方法 — 18	18
11 部品交換のしかた — 19	19
12 保管(長期間使用しない場合)・廃棄のしかた — 19	19
13 仕様 — 19~20	19~20
14 アフターサービス — 20	20
15 据付け・移設 — 21	21
16 お客様ご相談窓口 — 22	22
■ 保証書 — 裏表紙	裏表紙

1 特に注意していただきたいこと(安全のために必ずお守りください)

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

本文中のマークは、次の意味を表します。

	このマークは、「注意」していただく内容です。
	このマークは、してはいけない「禁止」を表しています。
	このマークは、必ず実行していただく「指示」を表しています。

警告 (WARNING)

ガソリン厳禁

ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。少量の混入でも火災の原因になります。



ガソリン使用禁止

温風吹出口をふさがない

衣類、紙などで温風吹出口や空気取入口をふさがないでください。衣類、紙などでふさぐと、火災の原因になります。



禁止

可燃物近接厳禁

カーテン・布団や毛布など燃えやすいものを近づけないでください。火災が発生するおそれがあります。可燃物との離隔距離については、標準据付図(21ページ)を参照してください。



禁止

給排気筒(管・ホース)外れ危険

給排気筒(管・ホース)が外れたまま使用しないでください。外れていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。



必ず守る

外れ危険

給排気筒トップ閉そく危険

給排気筒トップの周りが雪でふさがれたまま使用しないでください。ふさがれているときは、除雪してください。また、板などによる「雪囲い」は給排気の妨げになるのでおやめください。閉そくしていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。

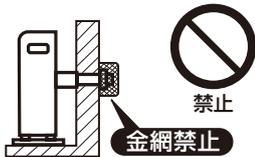


必ず守る

閉そく危険

給排気筒トップには金網などは付けない

給排気筒トップには、虫よけのための金網などは付けないでください。給排気の妨げになり、異常燃焼を起こし排ガスが室内に漏れる可能性があります危険です。



禁止

金網禁止

外付け装置による遠隔操作厳禁

スマートフォン、IT機器を使ってストーブの運転を操作する外付け装置※は安全性を確認できないため、使用しないでください。

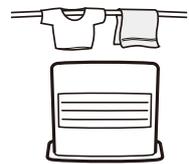
※操作部付近に設置し、インターネット通信などで操作キーを押すことのできる装置



禁止

衣類の乾燥厳禁

衣類などの乾燥には使用しないでください。衣類が乾燥すると、ストーブの熱気でゆれて衣類が落下して火がつき、火災の原因になります。



衣類乾燥厳禁

定期点検の実施

定期的(2年に1回程度)に点検・整備を受けてください。点検を受けずに長期間使用し続けると、故障や事故の原因になり危険です。点検・整備はお買いあげの販売店や資格者のいる店に依頼してください。



必ず守る

ご自身での据付け・移設工事の厳禁

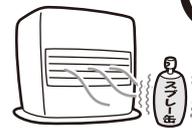
お客様ご自身による工事は危険です。据付け工事はお買いあげの販売店や専門業者に、ご依頼ください。(ストーブを移設させる場合も同じです。)



禁止

スプレー缶厳禁

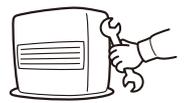
スプレー缶やカセットこんろ用ボンベなどを温風のあたるところに放置しないでください。熱で缶の圧力が上がり、爆発して危険です。



禁止

改造使用の禁止

改造して使用しないでください。また、ストーブ本体や給排気筒には床暖房用の熱交換器などを取り付けしないでください。火災や排ガスが室内に漏れる原因となり危険です。安全装置の無効化など機器の安全性を損なう改造は、火災など思わぬ事故の原因になります。



禁止

注意 (CAUTION)

給排気筒付近の可燃物近接禁止

給排気筒トップの近くに、灯油や可燃物など引火のおそれのあるものを置かないでください。火災のおそれがあります。



温風に直接あたらない

温風に直接長時間あたらないでください。低温やけどや脱水症状になるおそれがあります。温風を直接吸いこまないでください。気分が悪くなる可能性があります。



高温部接触禁止

燃焼中や消火直後は、温風吹出口、給排気筒トップに手などふれないでください。やけどのおそれがあります。



●小さいお子様のいるご家庭では、特に注意してください。

電源プラグのお手入れをする

ときどきは電源プラグをコンセントから抜き、ほこり(および金属物)を除去してください。(ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり)火災の原因になります。



電源の接続

- 電源は適正配線された単相100Vのコンセント以外は使用しないでください。発熱・発火の原因になります。
- 電源コードは、途中で接続したり、他の電気器具とのタコ足配線など、定格を超える使い方をしないでください。発熱・発火の原因になります。



長期間使用しないときは電源プラグを抜く

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や予想しない事故の原因になります。



プラグを抜く

灯油の保管

灯油は、火気、雨水、ごみ、高温および直射日光をさけた場所に保管してください。ガソリンなどといっしょに保管しないでください。誤って使用すると異常燃焼や火災のおそれがあります。



必ず守る

外出するときは消火

外出するときは、必ず運転を停止し消火してください。



必ず守る

分解修理の禁止

故障・破損したら、使用しないでください。不完全な修理は、危険です。お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にて修理を依頼してください。



分解禁止

高温部(やけど)に注意

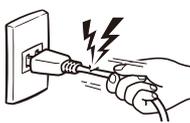
燃焼中や消火直後は、高温部(グリルの周辺など)、排気筒(煙突、排気筒トップ、給排気筒トップ)に手などふれないでください。やけどのおそれがあります。



高温注意

電源コードを傷めない

電源コードに無理な力(曲げる、ねじる、引っ張る)を加えたり、物をのせたりしないでください。高温部に近づけたり、束ねたまま使用しないでください。また、電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを持って引き抜かないでください。火災や感電の原因になります。



禁止

低温やけどについて

- 比較的低い温度(40~60℃)でも長時間皮膚の同じ所が熱せられると、熱い、痛いなどの自覚症状がなくても低温やけどのおそれがあります。
- 次のような方は特に注意してください。
 - 乳幼児、お年寄り、皮膚の弱い方
 - 眠気を誘う薬(睡眠薬、かぜ薬など)を服用された方
 - 深酒、疲労の激しい方

油漏れ確認

油タンク・ゴム製送油管・接合部および機器などからの灯油漏れがないことを確認の上ご使用ください。灯油が漏れていると火災のおそれがあります。



必ず守る

特殊用途には使用しない

食品・精密機器・美術品の保存や、動植物の飼育・栽培などには使用しないでください。



禁止

腰をかけたり、物をのせない

腰をかけたり、やかんや花瓶などの物をのせないでください。やけどしたり、ストーブが変形することがあります。また、水が内部に入ると、感電、火災、故障の原因になります。



禁止

初めてお使いになるときの注意

初めてお使いになるときは、耐熱塗料などが焼き付くまで煙とにおいが出ます。しばらくの間、窓をあけて部屋の換気を行ってください。また、小鳥や小動物などに影響する場合がありますので、この間は部屋に入れしないでください。



必ず守る

不良灯油使用禁止

変質灯油(持ち越した灯油など)、不純灯油(灯油以外の油・水・ごみが混入した灯油など)などの不良灯油を使用しないでください。異常燃焼や故障のおそれがあります。



禁止

可燃性ガス使用禁止

ストーブを使用している部屋で、可燃性ガスが発生するもの(ガソリン、ベンジン、シンナー)、スプレーを使用しないでください。火災や故障の原因になります。



禁止

機器を廃棄するときの注意

ストーブを廃棄処分するときは、レベラタンク・オイルフィルター内の灯油を抜き取ってください。灯油が入ったまま廃棄するとリサイクルの際に思わぬ事故になるおそれがあります。必ずお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にて依頼してください。



必ず守る

⚠ 注意 (CAUTION)

ゴム製送油管の点検・交換

ゴム製送油管を少し曲げてひび割れや亀裂があった場合は交換してください。
ゴム製送油管は時間と共に劣化しますので、ひび割れや亀裂などがない場合でも3年に1度は新しいものに交換されることをおすすめします。交換しないと灯油の漏れにつながり、火災のおそれがあります。



必ず守る

電源プラグは確実に差しこむ

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差しこんでください。
(また、傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。)火災の原因になります。ぬれた手での抜き差しはしないでください。感電の原因になります。



必ず守る

指や異物を入れない

温風吹出口や空気取入口などに指や異物を入れないでください。けがや火災の原因になります。



禁止

異常・故障時使用禁止

油漏れやにおい、すすの発生、炎の色、エラーを繰り返すなど異常や故障と思われるときは使用しないでください。事故の原因になります。「故障・異常の見分け方と処置方法」に従って処置してください。(P18ページ)



禁止

据付け上の注意

- お客様ご自身による工事は危険です。据付け工事や移設工事は、必ずお買いあげの販売店に依頼してください。
- ストーブおよび給排気筒の据付けについては火災予防条例、石油燃焼機器の設置基準による規制がありますので、これに従って据付けてください。
- ストーブの固定は、本体固定金具などで、確実に固定してください。



必ず守る

- 緊急時は電源プラグを抜いて消火してください。

給油時消火

給油は、必ず消火してから行ってください。こぼれた灯油はよくふき取ってください。火災のおそれがあります。



必ず守る

フィルターを外しての運転禁止 (Bタイプのみ)

ファンフィルターを外した状態で運転しますと、カーテンなどを巻きこんで火災になるおそれがあります。また、手などふれるとけがをするおそれがあります。



禁止

お願い (NOTICE)

灯油の廃棄

灯油の廃棄処分は、灯油をお買いあげになった販売店にご相談ください。

2 使用する場所

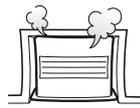
※本文中の「標準タイプ」はFF-74H・FF-100H、「Bタイプ」はFF-B58H・FF-B74H・FF-B100H・FF-B110Hを示します。

安全に使用するために

- ストーブを安全に使用するためには、場所の選定が大切です。

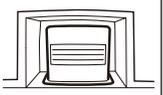
【標準タイプの場合】

- マントルピースなどには据付けしないでください。



【Bタイプの場合】

- マントルピースなどに据付ける場合は、標準据付け例に従ってください。(P21ページ)



- クリーニング店、美容院など化学薬品を使用する場所では使用しないでください。化学薬品などの影響により異常燃焼や故障の原因になります。

- 標高が2,000mを超える高地では使用しないでください。(空気の濃度が薄いため、燃焼に必要な空気が不足します。)高地で使用する場合は、調整が必要です。(詳しくは、工事説明書の「**高地で使用の場合**」をご覧ください。)



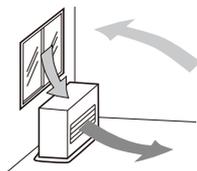
- 次の場所では使用しないでください。火災や予想しない事故の原因になります。

- 水平でない場所、不安定な場所
- 不安定な物をのせた棚などの下
- 可燃性ガスの発生する場所または、たまる場所
- 付近に燃えやすい物がある場所
- 階段、避難口などの付近で避難の支障となる場所
- 温室、飼育室、乾燥室など人のいない場所

効果的に使用するために

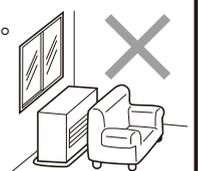
窓の下や壁面に設置

- 外気に接する窓の下や壁面に置くと、冷気がストーブであたためられ、温風として対流しますので効果的です。



温風の循環を妨げない

- 温風吹出口の前面に障害物を置かないでください。
- 障害物があると、部屋の温度にむらができるばかりでなく、本体の温度が上昇して危険です。また、温風がまわりこみ室温調節が正しく働かない場合があります。
- 温風吹出口側の空間を広くとれる場所を選んでください。

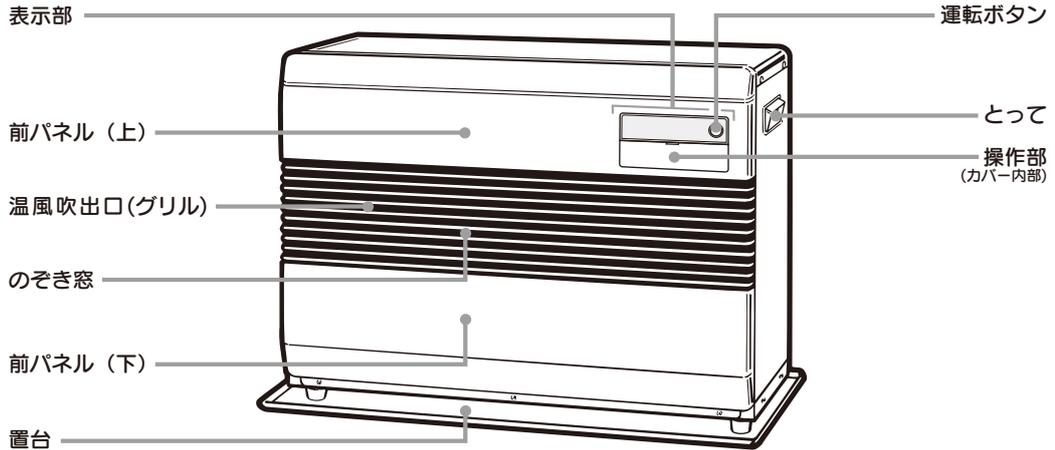


3 各部のなまえ

外観図

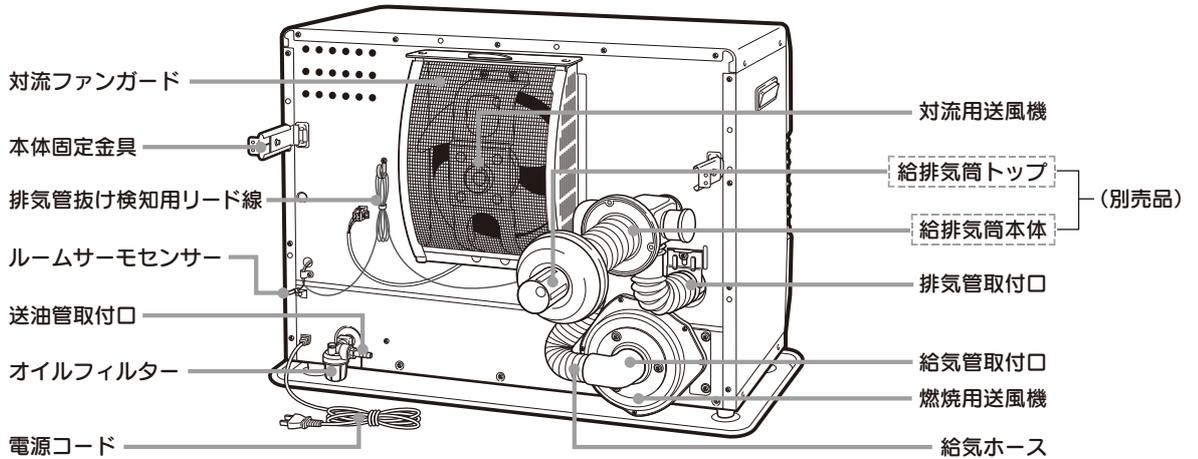
正面

FF-B58H
FF-74H
FF-B74H
FF-100H
FF-B100H
FF-B110H



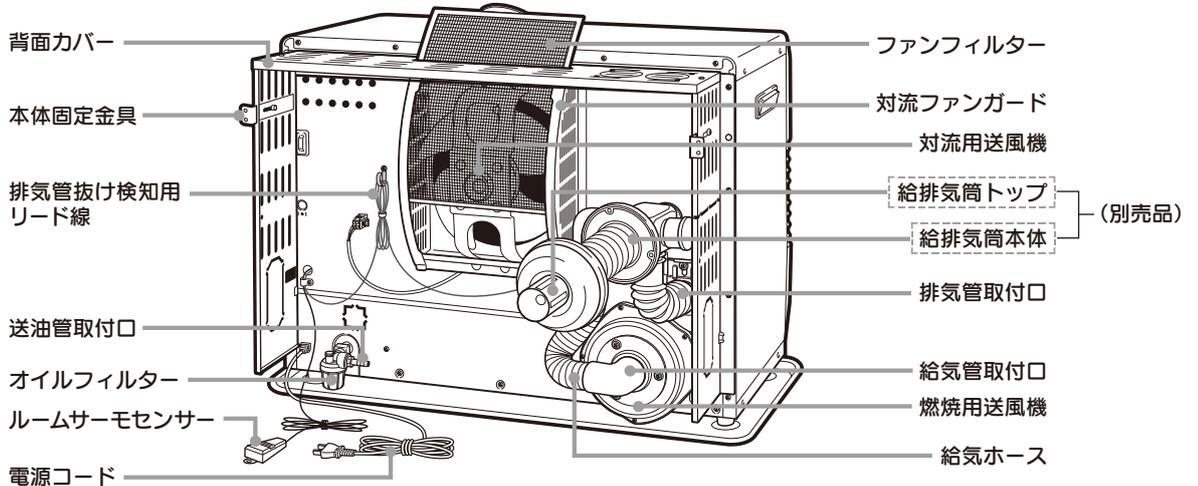
背面

FF-74H
FF-100H



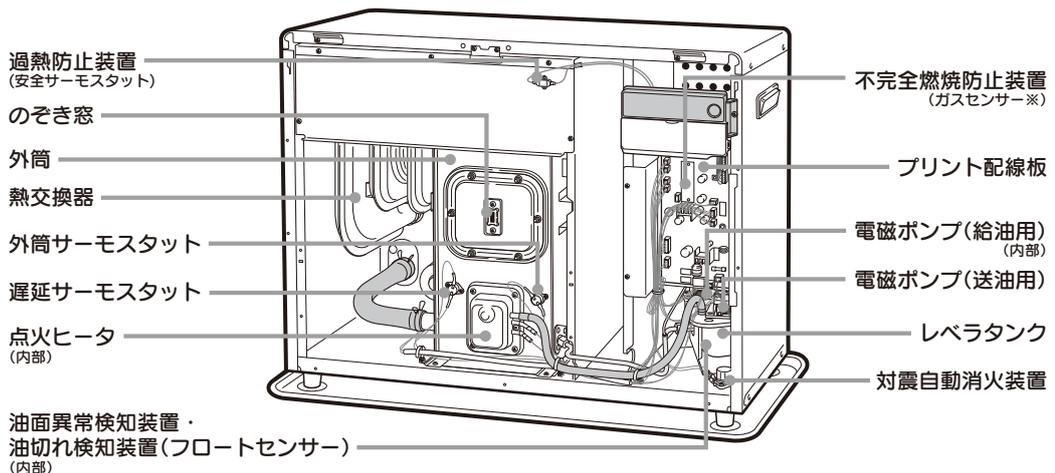
背面

FF-B58H
FF-B74H
FF-B100H
FF-B110H



構造図

FF-B58H
FF-74H
FF-B74H
FF-100H
FF-B100H
FF-B110H



※運転中はガスセンサーが発光・点滅するため、隙間から光が見えることがあります。

操作部のなまえと働き

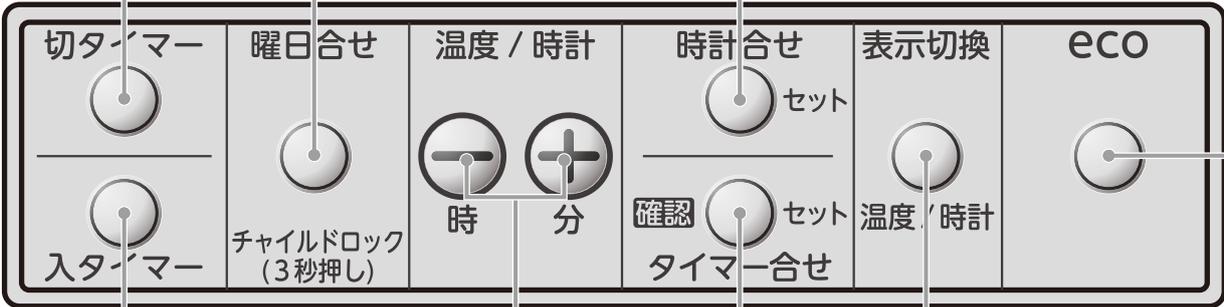
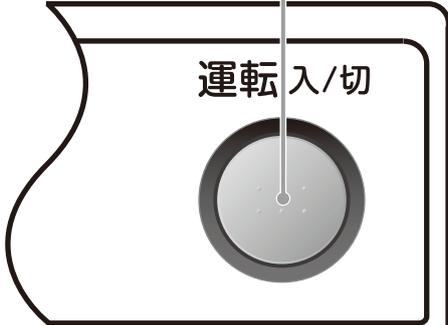
切タイマーキー
切タイマー運転をするときに押します。
(12 ページ)

時計合せキー
現在時刻を合わせるときに押します。
(10 ページ)

曜日合せキー
現在曜日 (10 ページ)・入タイマー
運転の予約曜日 (11 ページ) を
合わせるときに押します。

チャイルドロックキー
お子様などのいたずら操作防止や、誤っ
て運転ボタンを押しても点火しないよ
うにする機能です。
長押しするとセット・解除されます。

運転ボタン
運転開始〔点火〕 (9 ページ)
運転停止〔消火〕 (10 ページ)
するときに押します。



温度/時計キー
室温の調節 (9 ページ)・現在
時刻 (10 ページ)・タイマー
時刻 (11 ページ) を合わせ
るときに押します。

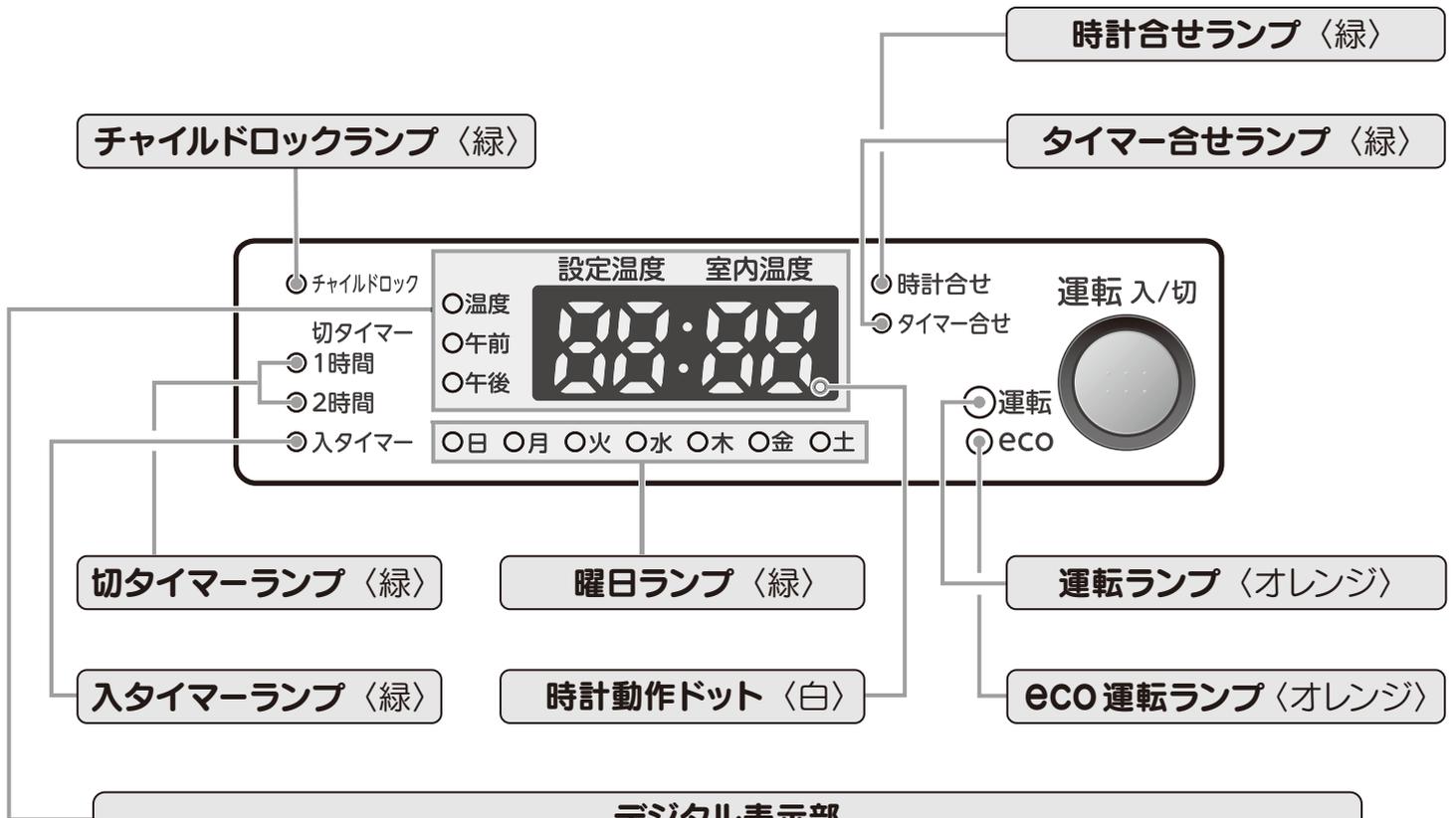
表示切換キー
温度表示・時計表示を切りかえ
るときに押します。

入タイマーキー
入タイマー運転をするときに押します。
(11 ページ)

タイマー合せキー
タイマー時刻を合わせるとき (11 ページ)・セット
したタイマー時刻を確認するとき (11 ページ) に
押します。

eco (エコ) キー
ストーブ運転中にキーを押すとeco (エコ)
運転を開始します。
もう一度押すと解除されます。(9 ページ)

表示部のなまえと働き



デジタル表示部	
● 温度 ○ 午前 ○ 午後 設定温度 室内温度 	● 温度点灯 (温度表示) 左側：設定温度表示 (12~30℃) 右側：室内温度表示
○ 温度 ● 午前 ○ 午後 設定温度 室内温度 	● 午前または、午後点灯 (時刻表示) ● 時計動作ドット点滅 左側：時 右側：分 (例) 午前8時30分 ● タイマー合せキーを押すと、タイマーセット時刻を表示します。
○ 温度 ○ 午前 ○ 午後 設定温度 室内温度 	● 点灯 停電後再通電 (ストーブ運転中の場合)
○ 温度 ○ 午前 ○ 午後 設定温度 室内温度 	● 点灯 電源プラグをコンセントに差しこんだとき (時刻の未セット) 停電後再通電 (ストーブ停止中の場合)
○ 温度 ○ 午前 ○ 午後 設定温度 室内温度 	● (例) 表示：対震自動消火装置の作動 再度、点火操作をしてください。 (その他の 表示は18ページ)
○ 温度 ○ 午前 ○ 午後 設定温度 室内温度 	● 表示 切タイマー終了後の停止表示

■ 運転停止中は表示がすべて消灯します

- 現在時刻を確認したいときは、操作キーのいずれかを押ししてください。現在時刻を1分間表示します。
- 運転停止中も常時現在時刻を表示させることができます。
 - ・入タイマーキーを長押ししてください。
 - ・もとにもどしたい場合は、同じように入タイマーキーを長押ししてください。
- 入タイマー待機中は、現在時刻が点灯します。

■ 表示部ランプの明るさ調節

- 温度/時計キー を押しながら を押すことにより、表示部ランプの明るさを2段階に調節することができます。

お願い

- はじめてお使いになる前に
 輸送時の傷を防止するために、表示部・操作部の表面には透明フィルムが貼ってあります。ご使用前に取り除いてください。コーナー部分にセロハンテープを貼り付けて、いっしょにはがすとより簡単に取り除けます。
 (透明フィルムは、ストーブの設置工事の際にはがしてある場合があります。)

4 使用前の準備

燃料 燃料は必ず灯油（JIS 1号灯油）を使用してください。

- **警告** ガソリンなどの揮発性の高い油は絶対に使用しないでください。火災の原因になります。
- **注意** 不良灯油（変質灯油、不純灯油）は絶対に使用しないでください。
- 添加剤や助燃剤などは使用しないでください。
- 灯油は必ず火気・雨水・ごみ・高温および直射日光をさけた場所に保管してください。

灯油とガソリンの見分けかた

指先に燃料をつけ、息をふきかけます。（火の気のない所で行ってください。）



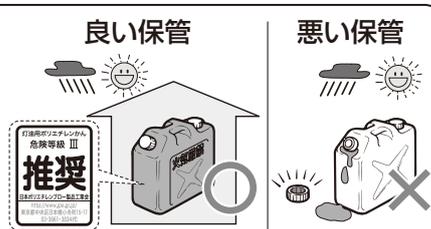
灯油はぬれたまま



ガソリンはすぐ乾く

正しい灯油の保管方法

- 火気、雨水、ごみ、高温、日光を避けた場所で保管してください。翌シーズンに持ち越さないようにしてください。
- 紫外線を通しにくい色付きの灯油用ポリタンク（推奨マーク付）を使用してください。乳白色のポリタンク（水用）は使用しないでください。
- ふたは、しっかり閉めて保管してください。但し、灯油は紫外線だけでなく温度でも変質するので、推奨マーク付の灯油専用容器でも日なたには放置しないでください。日なたに放置すれば変質灯油になってしまいます。



不良灯油(変質灯油・不純灯油)とは…

変質灯油

- 昨シーズンより持ち越した灯油
- 温度の高い場所で保管した灯油
- 日光のあたる場所で保管した灯油
- 乳白色のポリタンクで保管した灯油
- 灯油用ポリタンクのふたが開けてあった灯油



不純灯油

- 水やごみなどが混入した灯油
- ガソリン、軽油、シンナー、天ぷら油、機械油などが混入した灯油
- 灯油以外の油を入れたことのある容器に保管した灯油
- 水抜き剤や助燃剤を添加した灯油



不良灯油(変質灯油・不純灯油)の見分けかた

- 2つのコップを用意し、片方には水、もう片方には灯油を入れます。その2つのコップの背後に白紙をあてて色を比較し、灯油に色が付いていたら変質灯油の可能性がります。
- 変質灯油になるとうす黄色をおびた色になったり、すっぱい臭いがしたりします。
- 水が混入した不純灯油の場合は、水が下にたまり灯油と水が分離した状態になります。



※保管の状態によっては、無色透明でも灯油が変質している場合があります。

■変質灯油や不純灯油などの不良灯油を使用すると、機器の故障の原因になります。

- 油の程度にもよりますが、燃焼不良を起こしたり、ストーブの損傷を早め、故障の原因になります。
- 水やごみが送油経路内に流れこみ、油漏れや燃焼不良・着火不良の原因になります。

■変質灯油や不純灯油などの不良灯油を使用したときは…

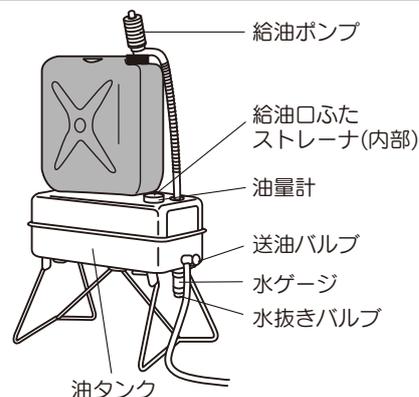
- お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご連絡ください。

- ご注意**
- 変質灯油や不純灯油などの不良灯油が原因で修理を依頼されたときは、保証期間中でも保証の対象外となります。
 - 不良灯油の処理でお困りの場合は、灯油をお買いあげの販売店にご相談ください。

給油

給油の手順と注意

- **注意** 給油は必ず消火してから行い、こぼれた灯油はよくふきとってください。火災のおそれがあります。
- 送油バルブを閉じて給油口ふたを外し市販の給油ポンプで給油してください。油量表の針が「満」をさしたら給油をやめてください。給油後は、給油口にあるストレーナを取り出して、水やごみがたまっていたら掃除してください。（油タンクによりストレーナはない場合があります。）
- ストレーナを取り付けて、給油口ふたを必ずもとどおり締めてください。

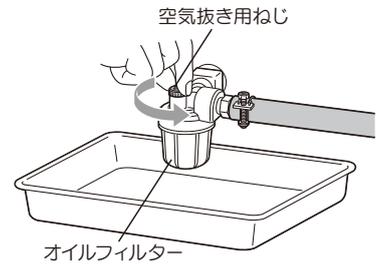


- 給油の際は、水・ごみなどを入れないように注意してください。水・ごみなどは油漏れ・燃焼不良・着火不良や、ストーブの寿命低下などの原因になります。
- 給油口ふたは、確実に締めてください。

燃料切れの注意と空気抜きの方法

- ご使用中、油タンク内の灯油がなくなると、デジタル表示部に  が表示され消火します。油タンクを空にしないように注意してください。また、消火するときに、電磁ポンプの振動音がすることがありますが、異常ではありません。
- 油タンクを一旦空にしますと、送油経路内に空気がたまり、正常に送油できなくなることがあります。このような場合には次の順序で空気抜きをしてください。

1. 油タンクに給油してください。
2. 油タンクの送油バルブ、および屋内用コックが開いていることを確認してください。
3. ストープ背面のオイルフィルターに付いている空気抜き用のねじをゆるめて送油経路内の空気抜きを十分に行ってください。(灯油が床にこぼれないように布、容器などを用意してください。)
4. 空気が抜けて空気抜き用ねじから灯油が連続して流れることを確かめてから、空気抜き用のねじを締めてください。
5. ストープの置台に灯油が漏れていないことを確認してから運転ボタンを押してください。再び  を表示した場合は、ストーブの置台に灯油が漏れていないことを確認してから、上記の手順を繰り返し、ストーブが点火することを確認してください。尚、 が解除できなくなった場合は、電源プラグをコンセントから一度抜いてから再度差しこんで解除してください。数回(目安として5回以上)繰り返しても  が表示され、点火しない場合は、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口に修理を依頼してください。



- 油タンクは、空にしないように、早めに給油してください。
- 初めて運転するときも、同じ手順で送油経路内を油で満たしてから行ってください。
- 空気抜き後の再点火時に、電磁ポンプの振動音がすることがありますが、異常ではありません。

点火前の準備と確認

送油経路の点検

-  **注意** 油タンク・ゴム製送油管・接合部および機器などから油漏れがないことを確認してください。

- 油漏れのあるときは使用を中止し、油タンクの送油バルブを閉じてから、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。



電源の接続

-  **注意** 電源プラグ・コードの発熱・発火を防ぐために…

- 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差しこんでください。
- 電源は必ず適正配線された单相100Vのコンセントを使用してください。
- 電源コードは、途中で接続したり、他の電気器具とのタコ足配線をしないでください。



ストーブ周囲の確認

-  **警告** カーテン・布団や毛布など燃えやすいものを近づけないでください。火災が発生するおそれがあります。



給排気筒接続部の確認

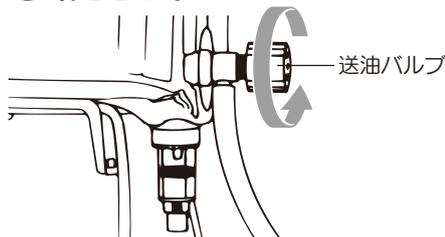
-  **警告** 給排気筒(管・ホース)が外れたまま使用しないでください。外れていると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。



5 使用方法

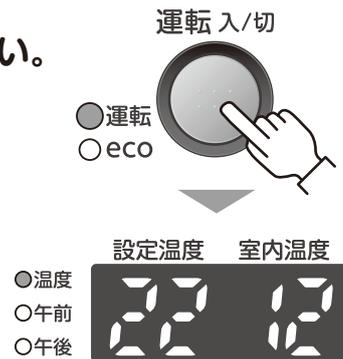
点火

1. 油タンクの送油バルブを開いてください。



2. 運転ボタンを押してください。

- 運転ランプの点灯と同時に、時刻表示から、温度表示に切りかわります。
- 点火後約7分で対流用送風機がまわり、温風が出ます。



- 着火後約10分間は、熱膨張のため、熱交換器などが小さな音を出すことがありますが、異常ではありません。
- 初使用時はストーブの防錆油や塗料などが焼けて、煙やにおいが出る場合があります。窓を少しあけて部屋の換気をしながら、半日から1日程度「大火力」で運転してください。また、小鳥や小動物などに影響する場合がありますので、この間は部屋に入れないでください。
- 初めてご使用になるときは、送油経路内の空気だまり(エアロック)により炎が立消えになることがありますが、一旦消火して、冷えるのを待ってからもう一度点火してください。
- 温風が出る前に運転ボタンを「切」にした場合でも約8分間は運転を継続しますが、異常ではありません。これは燃焼室内の未燃ガスを完全に燃焼させるための安全運転です。
- 外気温が低くなると、給排気筒トップから連続的に白煙が出る場合があります。これは排ガス中に含まれている水分が凝結して水蒸気になるためで、異常燃焼による白煙ではありません。
- ストーブの近くでラジオなどを使用すると、ラジオに雑音が入るおそれがあります。

室温の調節

温度調節キー \ominus \oplus を押して希望の設定温度に合わせてください。

- \ominus を1回押すと設定温度が1℃下がります。
- \oplus を1回押すと設定温度が1℃上がります。
- \ominus \oplus を押しつづけると、表示は連続してかわります。



- ルームサーモセンサーにより、設定温度に応じて自動的に火力が切りかわります。
- 設定温度は、12℃から30℃までの範囲でセットできます。
- 停電があった場合でも、再セットする必要はありません。
- 室内温度表示は、ルームサーモセンサー周辺の温度を感知して表示するので、お部屋の温度計とは数値が一致しないことがあります。
- ルームサーモセンサーは、ストーブの上部や熱を受けやすい場所、直射日光や冷気のアたる場所を避け、適切な位置に取り付けてください。(Bタイプの場合)

温度 / 時計

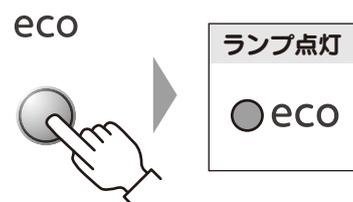


eco (エコ) 運転

- 小火力で室温が上昇する場合(気温の高いとき、日あたりの良い部屋)は、eco (エコ) 運転をお選びください。

eco (エコ) キーを押してください。

- eco (エコ) ランプが点灯します。
- 設定温度が20℃に設定されます。ただし、設定温度が20℃よりも低い場合は、そのままの設定温度になります。また、エコモードをセットした後でも、設定温度は変更できます。
- 室温が設定温度より約3℃上昇すると、自動的に消火し、設定温度まで下がると自動的に再点火して、室温を調節します。
- 通常運転にもどす場合は、再度eco (エコ) キーを押してください。



- 自動消火中は、eco (エコ) ランプのみ点灯します。
- 1度eco (エコ) 運転にセットすると、再運転するときは、自動的にeco (エコ) 運転となります。

炎の状態

- 黄炎(赤火)燃焼です。火力が切りかわったとき5秒間くらい炎が大きくなる場合がありますが、異常ではありません。

消火

運転ボタンを押しもどしてください。

- 運転ランプが消灯し、消火します。
同時にデジタル表示部は温度表示から時刻表示に切りかわります。
eco(エコ) 運転中の場合は、eco(エコ) ランプも消灯します。
- 消火後は本体内部が冷却するまで送風を継続し、約15分後に対流用送風機が停止します。



- 外出するときは、必ず消火してください。
- 消火操作後、温風が出ている間は、絶対に電源プラグを抜かないでください。もし抜きますと、のぞき窓がすすでくもったり、ストーブの表面温度が上昇します。
- **△注意** 長期間使用しない場合は、対流用送風機が停止してから、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ストーブに強い衝撃を与えて消火したり、電源プラグをコンセントから抜いて消火することはしないでください。

消火後再点火するときの注意

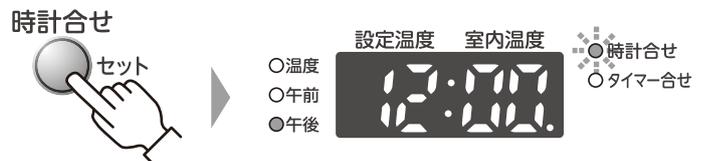
- 燃焼中に誤って次のような操作をすると、再点火安全装置の働きで、本体内部が冷却されるまで点火できませんので注意してください。
 - 電源プラグを抜いた
 - 運転ボタンを押しもどした
 - 入タイマーキーを押した
- ただし、瞬間的な停電(約3秒以内)の場合は、そのまま燃焼を継続します。

現在時刻・現在曜日の合せかた

- 電源プラグをコンセントに差しこむと、デジタル表示部は **----** を表示します。

1. 時計合せキーを押してください。

- 時計合せランプが点滅します。



2. 時・分キーを押してください。

- 1回押すごとに **⊖** (時) は1時間、**⊕** (分) は1分進みます。
押しつづけると表示は連続して進みます。
- **⊖** (時) キーで時刻合せをしたときは、午前・午後をまちがえないように注意してください。



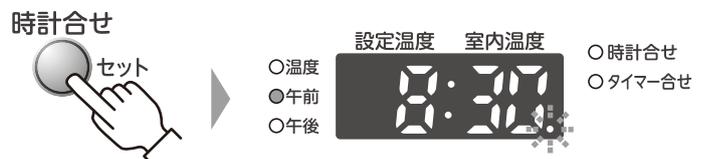
3. 曜日合せキーを押してください。

- 曜日合せキーを押して、現在曜日を合わせてください。



4. 時計合せキーを押してください。

- 時計合せランプが消灯し、セット完了です。
同時に時計動作ドットが点滅し、時計動作を開始します。



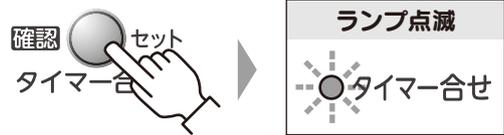
- 時計合せキーを押し忘れても、1分後に自動的に時計動作を開始します。

タイマー運転の使用方法

タイマー時刻の合せかた

1. タイマー合せキーを押してください。

- タイマー合せランプが点滅します。



2. 時・分キーを押してください。

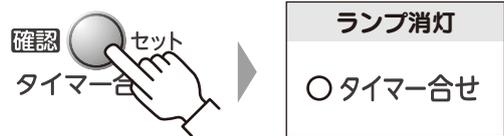
- 1回押すごとに (時) は1時間、 (分) は1分進みます。押しつづけると表示は連続して進みます。
- (時) キーで時刻合せをしたときは、午前・午後をまちがえないように注意してください。

温度 / 時計



3. タイマー合せキーを押してください。

- タイマー合せランプが消灯し、セット完了です。
- タイマー合せキーを押し忘れても、30秒後に自動的にセットされます。同時にデジタル表示部が現在時刻表示または、温度表示にかわります。
- タイマー時刻は、一度セットすれば記憶されます。



入タイマー運転

- 現在時刻・現在曜日を合わせていないと、入タイマー運転はできません。
- ストップ停止中からの入タイマー運転はできません。

1. 運転ボタンを押してください。

- 運転ランプが点灯します。
- ストップ運転中は必要ありません。



2. 入タイマーキーを押してください。

- 入タイマーキーを押すと運転が停止し、入タイマーランプ、タイマー合せランプ、予約曜日が点滅し、デジタル表示部にはタイマー時刻が表示されます。
- 現在曜日と予約曜日が同じ場合は、曜日ランプは点灯したままです。
- ストップ停止中から入タイマーをセットする場合は、運転ボタンを押してから、60秒以内に入タイマーキーを押してください。60秒以上経過すると一旦点火動作に入るため、燃烧用送風機が約8分間まわり続けます。



3. 曜日合せキーを押してください。

- 希望の予約曜日に合わせてください。合わせた時刻・曜日になると運転を開始します。
- 入タイマーセットから点火までの時間が24時間以内の場合は、曜日合せは必要ありません。



【例】現在金曜日で午後6:00のとき、月曜日の午前8:30にタイマーセットした場合

4. セット完了 (30秒後に自動セット)

- タイマー合せランプが消灯し、入タイマーランプが点滅から点灯にかわります。
- 同時にデジタル表示部は、現在時刻に切りかわります。
- 現在時刻表示にもどると、現在曜日は点灯し、予約曜日は点滅します。
- 現在曜日と予約曜日が同じ場合は、曜日ランプは点灯したままです。



- 予約曜日のランプは運転を開始するまで点滅を続けます。(現在曜日と予約曜日が同じ場合は、曜日ランプは点灯したままです。)
- タイマーセット時刻を確認するときは、タイマー合せキーを押してください。
- 停電などが発生したときは、再通电後にデジタル表示部が を表示し、タイマー運転を行いません。再度、現在時刻とタイマー時刻をセットしてください。
- 外出時など留守中に燃烧を開始するようなタイマーセットは、絶対にしないでください。

■入タイマーの解除

入タイマーキーを押してください。

- 入タイマーランプと予約曜日ランプが消灯し、運転状態になります。



切タイマー運転

● ストップ停止中からの切タイマー運転はできません。運転ボタンを押してから操作してください。

切タイマーキーを押してください。

- 1回押すと1時間ランプが点灯
2回押すと2時間ランプが点灯
- セット時間経過後に自動消火し、同時にデジタル表示部は  となります。

切タイマー



- チャイルドロック
- 温度
- 切タイマー
- 1時間
- 2時間
- 入タイマー

セット時間経過後自動消火

- チャイルドロック
- 温度
- 設定温度
- 室内温度
- 切タイマー
- 午前
- 午後
- 1時間
- 2時間
- 入タイマー
- 日 ○ 月 ○ 火 ○ 水 ○ 木 ○ 金 ○ 土

切タイマーの解除

切タイマーキーを押してください。

- 切タイマーランプが消灯し、運転を継続します。
- 消火するときは、運転ボタンを押しもどしてください。

切タイマー



ランプ消灯

- 切タイマー
- 1時間
- 2時間

切 + 入タイマー運転

1. 切タイマーキーを押して、切タイマーをセットしてください。
2. 入タイマーキーを押してください。

● 予約曜日を変更する場合は、このときに変更してください。

- タイマー合せランプが消灯し、入タイマーランプが点滅から点灯に変わります。
- 同時にデジタル表示部は、現在時刻に切りかわります。

- 必ず切タイマーのセットを先に行ってください。入タイマーのセットを先に行いますと、一旦消火して本体内部が冷却してからでないと再点火できません。
- 切+入タイマー運転セット後、切タイマー時間を変更する場合は、1回押すと1時間、2回押すと2時間、3回押すと1時間になります。

【例】現在金曜日で午後6:00のとき、切タイマー1時間 + 入タイマーを月曜日の午前8:30にタイマーセットした場合

切タイマー



- チャイルドロック
- 温度
- 設定温度
- 室内温度
- 切タイマー
- 午前
- 午後
- 1時間
- 2時間
- 入タイマー
- 日 ○ 月 ○ 火 ○ 水 ○ 木 ○ 金 ○ 土



デジタル表示部: 設定温度 室内温度 時計合せ

- チャイルドロック
- 温度
- 設定温度
- 室内温度
- 切タイマー
- 午前
- 午後
- 1時間
- 2時間
- 入タイマー
- 日 ○ 月 ○ 火 ○ 水 ○ 木 ○ 金 ○ 土
- 時計合せ
- タイマー合せ

デジタル表示部: 設定温度 室内温度 時計合せ

- チャイルドロック
- 温度
- 設定温度
- 室内温度
- 切タイマー
- 午前
- 午後
- 1時間
- 2時間
- 入タイマー
- 日 ○ 月 ○ 火 ○ 水 ○ 木 ○ 金 ○ 土
- 時計合せ
- タイマー合せ

切 + 入タイマーの解除

運転ボタンを押しもどしてください。

運転入/切



デジタル表示部: 設定温度 室内温度 時計合せ

- チャイルドロック
- 温度
- 設定温度
- 室内温度
- 切タイマー
- 午前
- 午後
- 1時間
- 2時間
- 入タイマー
- 日 ○ 月 ○ 火 ○ 水 ○ 木 ○ 金 ○ 土
- 時計合せ
- タイマー合せ

チャイルドロック

● お子様などによるいたずら操作の防止や、誤って運転ボタンを押しても点火しないようにする機能です。

- 運転中または停止中でもチャイルドロックできます。
- 運転中にチャイルドロックをセットすると、セット中は運転停止(消火)およびチャイルドロックの解除以外の操作を受け付けません。
- 停止中にチャイルドロックをセットすると、セット中はチャイルドロックの解除以外の操作を受け付けません。

チャイルドロックキー(曜日合せキー)を長押ししてください。

- チャイルドロックランプが点灯するとセット完了です。

曜日合せ



ランプ点灯

- チャイルドロック

チャイルドロックの解除

再度、チャイルドロックキーを長押ししてください。

- チャイルドロックランプが消灯し、解除されます。

ランプ消灯

- チャイルドロック

自己診断モニターについて

故障・異常が発生するとその状態が表示部に記号表示(自己診断モニター)されます。
「故障・異常の見分け方と処置方法」(P.18ページ)をご覧ください。記号表示に合った必要な処置をしてください。

<自己診断モニター>

表示	原因	処置方法	表示	原因	処置方法
E1	途中消火	①	EP 点滅	外筒サーモスタット作動	①
E2	不着火		EP 点灯		⑤
E3	対震自動消火装置作動		EL	油切れ検知装置作動	②
EF・EH	過熱防止装置作動		EU	油面異常検知装置作動	③
E5	排気管抜け検知装置作動		HE	不完全燃焼防止装置検知部異常	④
E7	燃焼用送風機パルス異常		HC 点滅	不完全燃焼防止装置作動	④
EC	室温異常上昇防止装置作動		HH 点滅	連続不完全燃焼通知機能作動	
EE	停電後再通電		HH 点灯	再点火防止機能作動	⑤

■処置方法

- ① 運転ボタンを押しもどして一旦「切」にし、再び「入」にしてください。
- ② 油タンクに給油して、ストーブの置台に灯油が漏れていないことを確認してから運転ボタンを押してください。
再び  を表示した場合は、再度ストーブの置台に灯油が漏れていないことを確認してから運転ボタンを押してください。
- ③ 屋内用コック(送油バルブ)を閉じてから、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご連絡してください。
また、ブザーが10分ごとに鳴りますので、音を消したい場合は、運転ボタンを1回押してください。
- ④ 直ちに部屋の換気を十分に、運転ボタンを押しもどして一旦「切」にし、再び「入」にしてください。
- ⑤ 直ちに部屋の換気を十分に、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご連絡してください。

表示	表示理由・処置方法
88	点検時期お知らせ機能(タイムスタンプ)が作動しました。 下記の「  表示 点検時期お知らせ機能について」を参照して、あんしん点検(有料)を依頼してください。

お願い

- お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご連絡していただく際は、表示している自己診断モニターもお知らせください。

表示 点検時期お知らせ機能について

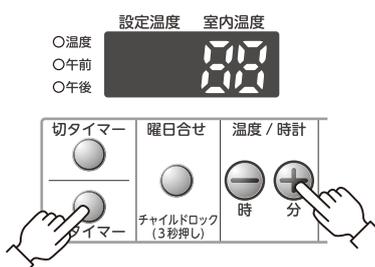
- 本製品には点検時期お知らせ機能(タイムスタンプ)が搭載されています。ストーブの使用時間が設計上の標準使用期間8年相当(20,000時間)になったら、表示部に  を表示して点検時期をお知らせします。
- 経年劣化による重大事故を防止するために、あんしん点検(有料)を依頼してください。
- 弊社 お客様ご相談窓口：コロナサービスセンターにご連絡してください。点検のご案内をさせていただきます。
受付時間：365日24時間受付 TEL：フリーダイヤル 0120-919-302 携帯電話：ナビダイヤル 0570-550-992
(ナビダイヤルの通話料はお客様負担となります)
- 故障ではありませんのでご使用できます。

ご注意

- 使用状況によっては点検時期お知らせ機能(タイムスタンプ)による点検時期お知らせ表示が設計上の標準使用期間8年より早く表示することがあります。
- 点検後は使用時間が3年相当(7,500時間)の使用期間ごとに  を表示して、点検時期をお知らせします。安全に製品を使用していただくため、 を表示した場合は、あんしん点検(有料)を受けることをおすすめします。

- 点検を受けていただくまでの間、表示部の  を表示しないようにできます。
弊社 お客様ご相談窓口にご連絡してから下記の  表示の解除方法に従って、操作してください。

表示の解除方法



1. 運転ボタンを押して「入」にしてください。
約3分ごとに  表示が10秒間点滅します。
2. 温度調節キーの  を押しながら入タイマーキーを長押ししてください。
表示部が  から  に切りかわり、点検時期お知らせ表示  を表示しなくなります。

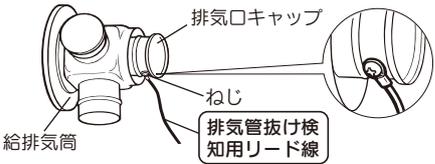
- 点検を受けずにご使用になった場合、上記操作後1年相当(2,500時間)になると再度  を表示します。

6 安全装置

このストーブには次のような安全装置がついています。
すべての安全装置は、異常が取り除かれても再度点火操作をしなければ運転は停止したままです。

安全装置	原因	処置方法
対震自動消火装置 ( 表示)	●地震や強い衝撃を受けたときは対震自動消火装置が作動して自動的に消火します。	●地震によって作動した場合、周囲の可燃物、機器の損傷、油漏れ、給排気筒の外れなど異常がないことを確認してから再点火してください。
不完全燃焼防止装置 〔ガスセンサー〕 ( 点滅表示)	●万一排ガスが漏れた場合は不完全燃焼防止装置が働いて消火します。 ( 点滅)	●部屋の換気を十分にしてください。 ●排気管に外れがないか、また他の燃焼機器などの影響がないか確認してください。 ●部屋の換気を十分にしてお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご連絡してください。
連続不完全燃焼通知機能 ( 点滅表示)	●不完全燃焼防止装置が連続して4回作動すると「連続不完全燃焼通知機能」が働き、お知らせします。( 点滅)	
再点火防止機能 ( 点灯表示)	●さらに不完全燃焼防止装置(連続不完全燃焼通知機能)が連続して3回作動すると「再点火防止機能」が働き、再点火できなくなります。( 点灯)	
点火安全装置 燃焼制御装置 ( 表示・  表示)	●点火ミス・途中消火したときに自動消火します。	●「日常の点検・手入れ」( 15~17ページ)をしてから点火操作をしてください。 処置しても繰り返しエラー表示が出るときは、一旦運転ボタンを「切」にしてお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご連絡してください。
停電安全装置 ( 表示…再通電後)	●停電や電源プラグがコンセントから抜けたときは、すべての運転を停止します。	●電源プラグを確認してください。 ●停電復帰後(再通電)後デジタル表示部に  が表示され、ストーブは運転しません。 再度、点火操作をしてください。
過熱防止装置 〔安全サーモスタット〕 ( 表示)	●温風空気取入口や温風吹出口がほこりなどでふさがれたり、ストーブ前面に障害物があるなどして本体内部が過熱すると自動的に消火します。	●ファンフィルターや対流ファンガード、温風吹出口の掃除をしてから再点火してください。 ( 16・17ページ) 処置しても繰り返しエラー表示が出るときは、一旦運転ボタンを「切」にしてお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご連絡してください。

7 その他の装置

装置の名称	原因・作動結果	処置方法
排気管抜け検知装置 ( 表示)	●排気管の接続部が外れたり、排気管抜け検知用リード線が断線したときには、安全装置が作動し、エラー表示  を表示し、自動的に消火します。 排気管抜け検知装置が作動している場合は、エラー表示  が点滅して点火できません。 ●排気管抜け検知装置にたよらず、給排気筒や延長管を月に1度は点検してください。	●原因を調べ処置後点火操作をしてください。  給排気筒、排気管抜け検知用リード線、ねじ、排気口キャップ 排気管抜け検知用リード線のゆるみまたは、外れ・断線がないか確認してください。
再点火安全装置	●消火直後、本体内部が冷却しないうちに再点火操作をしても、一旦冷却してからでないと燃焼しないようになっています。	●本体内部が冷却してから、もう一度点火操作をしてください。
外筒サーモスタット ( 表示)	●ほこりの堆積、ストーブ正面に障害物があるなどして本体内部が過熱したとき、また給排気経路が閉塞されたときエラー表示  を表示し、自動的に消火します。	●ほこりや障害物、給排気経路の閉塞を取り除いてください。処置してもエラー表示が出るときは、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご連絡してください。
室温異常上昇防止装置 ( 表示)	●部屋の温度が50℃以上になったとき、エラー表示  を表示し、自動的に消火します。	●ルームサーモセンサーの周囲を点検し、窓をあけ、部屋の換気をしてから、点火操作を行ってください。
油切れ検知装置 〔フロートスイッチ〕 ( 表示)	●油タンクの灯油がなくなったとき、あるいは油タンクの送油バルブが閉じていると自動消火します。	●油タンクに給油してください。 ●油タンクの送油バルブを開けてください。
油面異常検知装置 〔フロートスイッチ〕 ( 表示)	●レバラタンク内の油面が上限を超えると自動消火します。	●油タンクの送油バルブを閉じてから、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご修理を依頼してください。

8 日常の点検・手入れ

点検・手入れは、消火後ストーブが十分冷えてから、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

ご注意

- 電気部品の分解や市販品との交換は絶対にしないでください。
- 燃焼部の分解は絶対にしないでください。
- 部品にさわるときや、内部を掃除するときは、けがをしないように手袋をはめて行ってください。
- ストーブをベンジン、シンナーなどでふかないでください。変色します。

ストーブとストーブ周囲の点検 (使用ごと)

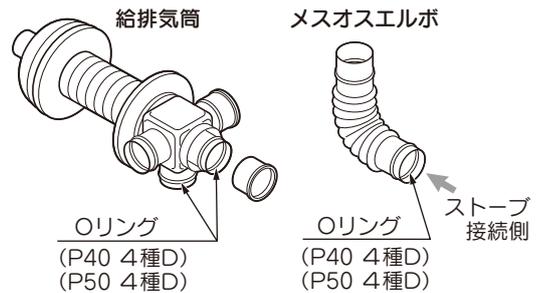
- **警告** カーテン・布団や毛布など燃えやすいものを近づけないでください。火災が発生するおそれがあります。
- ほこりや汚れをそのままにしておきますと、油がしみたりして危険です。ストーブはいつも清潔にしてご使用ください。
- **注意** 油タンクやゴム製送油管・接合部および機器などから灯油漏れがないことを確認の上、ご使用ください。
 - 油漏れがある場合は、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にて修理を依頼してください。
- ゴム製送油管は、屋外で使用しないでください。屋外での使用は禁止されています。
- ゴム製送油管を少し曲げてひび割れや亀裂があった場合は交換してください。ゴム製送油管は時間と共に劣化しますので、ひび割れや亀裂などがなくても3年に1度は新しいものに交換されることをおすすめします。交換しないと灯油の漏れにつながり、火災のおそれがあります。

給排気筒接続部のゆるみおよびトップ周囲の点検 (使用ごと)

- **警告** 給排気筒(管・ホース)が外れたまま使用しないでください。外れていると運転中に排ガスが漏れて危険です。
- **警告** 積雪が多いときには、給排気筒トップの周りが雪でふさがれていないことを確認してください。ふさがれているときは、除雪してください。閉そくしていると、運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。
 - 除雪は、給排気筒トップの周囲を常に30cm以上開けて、風がよどまないようにしてください。
 - 積雪や屋根から落ちた雪により、給排気筒トップがふさがれると燃焼不良の原因になります。閉そくすると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。
- 給排気筒およびトップの周囲に障害物が置かれていないか、点検してください。障害物が置いてある場合は、移動してください。

給排気筒接続部のゆるみおよびトップ周囲の点検 (1シーズン1~2回)

- 給排気筒がつまると、不完全燃焼を起こします。シーズン初めには必ず点検し、くもが巣をつくったり異物が入ったりしているときは、必ず掃除してください。
- 給排気筒を一度取り外して、再び取り付けるときは、排気筒の接続部内部にはめこんであるOリングが破損していないか確かめてください。破損していた場合は、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にて交換を依頼してください。
 - P40 4種D — FF-B58H・FF-74H・FF-B74H
 - P50 4種D — FF-100H・FF-B100H・FF-B110H
- 給気ホースが排気筒にあたっていないかを点検してください。

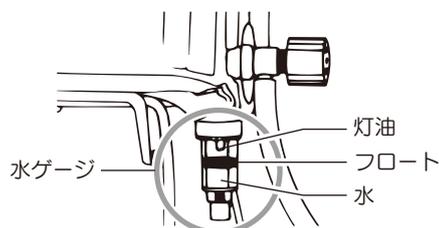


油タンクの水抜き (1シーズン1~2回) ■屋内用油タンクを一例にして説明

- 油タンク内に水がたまると、水ゲージの灯油と水の境界面に赤色のフロートが浮き上がります。

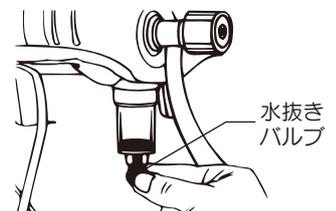
1. フロートの点検

- フロートが浮き上がっていたら水抜きを行ってください。



2. 水を抜く

- 水抜きバルブの下に容器を置いて、水抜きバルブを少しゆるめると油タンク内の水が出て、フロートが沈みます。水を抜いたら水抜きバルブを固く締めてください。
- 水抜き後は、油漏れがないか必ず確認してください。
- 油タンク内には、水やごみがたまりやすく、多くたまるとストーブの方へ流れ出し、灯油の流れを妨げて十分な火力が出なくなり、燃焼不良や着火不良の原因になります。ときどき水ゲージの点検を行ってください。



※油タンクの仕様により確認方法が異なります。

オイルフィルター掃除 (1シーズン1~2回) お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口に依頼してください。

- オイルフィルターに水やごみがたまった場合は、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口
に掃除の依頼をしてください。



熱交換器の点検 (1シーズン1~2回) お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口に依頼してください。

- 熱交換器の内部にすすが異常にたまると、不完全燃焼の原因になります。
- 異常燃焼(においがしたり、給排気筒から黒煙が出るようなとき)が起こった場合には、ポットバーナの点検とあわせて熱交換器の点検をお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口に依頼してください。

点火ヒータの点検 (シーズン初め) お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口に依頼してください。

- 点火ヒータや点火しんにすすが付着すると、赤熱が低下したり、油の吸い上げが悪くなり、着火不良の原因になります。
- 点火ヒータの着脱は入念に行う必要がありますので(燃焼用空気の気密性保持のため)、必ずお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口に依頼してください。

ポットバーナの点検 (シーズン初め) お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口に依頼してください。

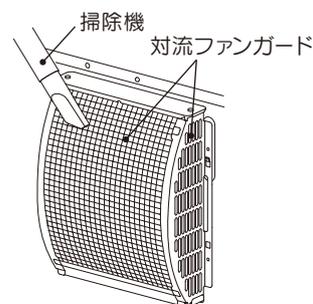
- ポットバーナ内部や燃焼リングの点検は高度な技術を必要としますので、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口に依頼してください。

対流用送風機(ファンフィルター)の掃除 (週1回以上)

- 対流ファンガード(標準タイプ)、ファンフィルター(Bタイプ)は週1回以上掃除してください。
対流ファンガード(標準タイプ)、ファンフィルター(Bタイプ)にほこりがたまると、音が大きくなって温風量が少なくなり暖房出力が低下し、排気温度上昇やストーブの表面温度が上昇する原因になります。
(ストーブ内の温度が上昇して過熱防止装置または、外筒サーモスタットの働きで運転が停止する場合があります。)
次のように掃除を行ってください。

■標準タイプの場合

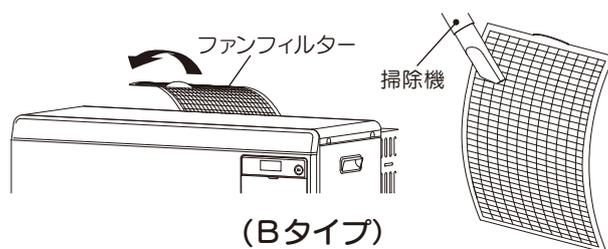
- 対流用送風機が止まっていることを確認してください。
- 対流ファンガード(背面・側面)に付着したほこりを掃除機などで取り除いてください。



(標準タイプ)

■Bタイプの場合

- 右図の矢印のようにファンフィルターを手前に引き上げて取り外してください。
- ファンフィルターに付着したほこりを掃除機などで取り除いてください。
- 掃除が終わりましたら、もとどおりに取り付けてください。



(Bタイプ)

- **⚠注意** ファンフィルターを外したまま運転しないでください。

温風吹出口の掃除 (週1回)

●本体や温風吹出口の汚れは、本体が冷えてから、しめらせたやわらかい布でふき取ってください。

- しつこい汚れは中性洗剤を使用し、十分からぶきしてください。
- 温風吹出口羽根を曲げたり、変形させないように注意してください。
- ベンジン、シンナーなどでふかないでください。変色します。



のぞき窓の透明度が悪くなったとき お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。

●異常燃焼（においがしたり、給排気筒から黒煙が出るようなとき）をしている場合があります。ポットバーナの点検とあわせて熱交換器の点検をお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。

地震などの災害が発生したときの点検

地震などの災害が発生し、製品に振動や衝撃が加わったときは、運転前に必ず次の点検を行ってください。

- 給排気筒周りの外れ、漏れの確認
- 灯油配管からの漏れ確認
- 機器の損傷点検

点検で異常が見つかった場合は、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。

9 定期点検

コロナ密閉式石油ストーブは使用される場所や条件、また使用時間により消耗・劣化する部品があります。定期点検は専門の技術者が、設置状態・給排気まわりの点検、安全装置および運転動作の点検・確認、使用時間により消耗劣化しやすい部品の点検などを行います。安全にお使いいただくために製品の状態を点検診断するものですから必ず受けてください。

- 2シーズンに1回程度、シーズン終了後などに定期点検を受けてください。ただし、湿度の高い所、ほこりの多い所（例えば、厨房室や製綿工場など）、温泉地域でご使用の場合は、1シーズンに1回程度の点検が必要となります。
- 点検のご相談はお買いあげの販売店または修理資格者〔一般財団法人日本石油燃焼機器保守協会（TEL 03-3499-2928）で行う技術管理講習会修了者（石油機器技術管理士など）〕のいるお店またはお客様ご相談窓口（☎ 22ページ）までご相談ください。
- 定期点検の費用についても、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口（☎ 22ページ）までお問い合わせください。点検の結果、部品交換および修理などが必要な場合は、処置内容および費用についてお客様にご相談申し上げます。

定期点検の内容

項目	内容
設置状態、給排気まわりの点検・確認	●製品の設置、使用状態 ●給排気筒の接続とつまり ●送油経路部の油漏れ(ゴム製送油管含む)
安全装置および運転動作の点検・確認	●安全装置の働き ●運転動作の確認 ●操作部品や動く部品の働き
環境・使用時間により劣化しやすい部品の点検・確認	●点火ヒータなどの点検 ●給排気部品、排気管接続用Oリングなどの点検 ●ポットバーナなどの点検 ●各種送風機の点検 ●各種パッキンの点検
製品の清掃・整備	●本体内 ●油タンクの水抜き ●ファンフィルター、対流ファンガード、対流用送風機 ●オイルフィルター

愛情点検



長年ご使用の密閉式石油ストーブの点検をぜひ！

こんな症状はありませんか

- 油漏れがする。
- 強においがする。
- 運転中に異常な音がある。
- その他の異常や故障がある。

ご使用中止

故障や事故の防止のため必ずお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご連絡ください。点検・修理についてのご費用など詳しいことはお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。

10 故障・異常の見分け方と処置方法

次のような現象は故障ではありません。

●修理を依頼される前にもう一度お確かめください。

現象	説明	
点火時 初めて使用するとき、煙やにおいが出る	耐熱塗料やほこりなどが焼けるためです。窓をあけ、換気をしながら大火力で半日から1日程度運転してください。	
消火時 初めて使用するときや、シーズン初めの初使用時に1回で着火しない	送油経路の空気だまりなどにより、1回で着火しないことがあります。2~3回点火操作をくりかえしてください。	
燃焼開始時や消火後に「ピチ・ピチ」音がる	本体内部が熱により膨張、収縮するためです。異常ではありません。	
点火してもすぐ温風が出ない	不快な冷風を出さないため、本体内部があたたまるまで温風が自動的に吹き出できます。	
消火しても温風が出ている	本体内部が冷却するまで送風を継続します。	
燃焼時 炎が赤い	黄炎(赤火) 燃焼です。異常ではありません。	
その他	給排気筒の先端から連続的に白煙が出る	外気温が低くなると、排ガス中に含まれている水分が凝結して水蒸気になるため、異常燃焼による白煙ではありません。
	給排気筒のトップが黒くなる	排気出口付近が薄く黒くなる程度は、異常ではありません。
	(Bタイプ) 機器の室内温度表示と部屋の温度計の差が大きい	ルームサーモセンサーの取付位置によるものです。適当な場所に移動してください。
	使用中にときどき「コト・コト」音がる	電磁ポンプ(送油用・給油用)の運転音です。異常ではありません。
	初めて使用するときや油切れのとき「コト・コト」音がる	電磁ポンプ(給油用)が空打ちする音です。異常ではありません。
	表示部に  が表示される。点検時期お知らせ機能(タイムスタンプ)作動	ストーブの点検時期になりました。「  表示 点検時期お知らせ機能について」を参照してください。(P.13ページ)

●次の表にもとづいて、もう一度お確かめください。

●表にないエラー表示の場合、あるいは処置方法で*印の項目や、処置方法により処置しても良くならないときは、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。

原因	現象										エラー表示	処置方法	
	点火しない	火力が大きくなる	異常燃焼する	のそき音がくもる	大きな燃焼音をあげて燃える	炎が途中で消えてしまう	突然炎が消え運転がとまった	運転しない	運転ランプもつかない	油漏れがある			においがする
点火ヒータの断線	●											E2	お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にて修理を依頼する ※
点火ヒータと点火しんとの位置関係が悪い	●											E2	お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にて修理を依頼する ※
油タンクに灯油がない、送油バルブが閉じている	●						●					E1	給油する、送油バルブを開く(P.8ページ)
燃焼(パイロット)リングが正しくセットされていない			●	●								—	お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にて修理を依頼する ※
送油経路内に水またはごみがたまっている	●											E2	送油経路内の水抜きをする オイルフィルターの掃除をする ※
		●					●					E1	
送油経路内に空気だまりがある	●							●				E1	送油経路の空気抜きをする(P.8ページ) ゴム製送油管が山形になっている所は平らにする
排気管の配管が長い、曲り箇所が多い			●	●								—	延長3m、曲り3箇所以下にする
強い地震があった、またはストーブに強い衝撃を与えた							●					E3	「地震などの災害が発生したときの点検」の点検項目を確認し、運転ボタンを押しなおし、再点火する ※
不良灯油(変質灯油、不純灯油)を使用している		●										—	良質の灯油と入れかえる
							●					E1	
排気管の接続部にスキマがある										●		—	排気管の接続箇所を正しく取り付ける ※
給排気筒の先端がおおわれている		●	●	●	●						●	—	おおっているものを取り除く
送油経路からの油漏れがある										●	●	—	お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にて修理を依頼する ※
電源コードの断線							●	●				—	お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にて修理を依頼する ※
過熱防止装置の作動							●					EF EH	原因を取り除いた後、再点火する
室温異常上昇防止装置の作動							●					EC	窓を開け、部屋の換気をする
不完全燃焼防止装置の作動							●			●		HC HH	部屋の換気をよくしてお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にて連絡する
排気管抜け検知装置の作動	●							●				E5	排気管の接続部および排気管抜け検知用リード線の接続部の外れがないか点検し、外れていたなら正しく接続する ※

11 部品交換のしかた

部品交換のときの注意

ご注意 不完全な修理、調整は危険ですので、部品の交換、調整が必要な場合には、お買いあげの販売店または、修理資格者〔一般財団法人 日本石油燃焼機器保守協会で行う技術管理講習会修了者（石油機器技術管理士）など〕のいる販売店にご相談ください。

部品交換は **コロナ純正部品** とご指定ください。

消耗・劣化しやすい部品（交換が必要な部品）

■長期間の使用により消耗・劣化しやすい部品

- 点火ヒータ(点火しん) ● Oリング ● 燃焼(パイロット)リング ● ゴム製送油管 ● 各種パッキン

■変質・不純灯油などの不良灯油の使用により劣化しやすい部品

- ポットバーナ ● 点火ヒータ(点火しん) ● 電磁ポンプ(送油用、給油用) ● フロートスイッチ

12 保管(長期間使用しない場合)・廃棄のしかた

シーズンオフや長期間使用しないときは、日常の点検・手入れの項を参照し、次の要領で保管してください。

長期間使用しない場合

- 電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - **△注意** 長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - 油タンクの送油バルブを閉じてください。
 - 対流用送風機・ファンフィルター・対流ファンガード・温風吹出口の掃除をしてください。(P.16・17ページ)
 - 本体のごみやほこりを取り除いてください。
 - 掃除機などでごみやほこりを取り除いてください。
 - 本体をしめらせた布で汚れを落してから、からぶきしてください。(P.17ページ)
 - ストーブは据付けのまま保管してください。
 - 温風吹出口や背面の対流用送風機(対流ファンガード・ファンフィルター)にほこりなどがたまらないようにカバーなどをかけてください。
 - どうしても取り外して保管されるときは、ポリ袋をかぶせ、乾燥した場所に横倒しにしないよう保管してください。
 - 次シーズンに据付けを行うときには、必ずお買いあげの販売店に依頼してください。
- 取扱説明書、工事説明書も大切に保管してください。

廃棄のしかた

- 廃棄処分するときは、各自治体の指示に従ってください。
- 必ず機器内の灯油を抜きとってください。お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口に依頼してください。
- 灯油の廃棄処分については、灯油をお買いあげになった販売店にご相談ください。

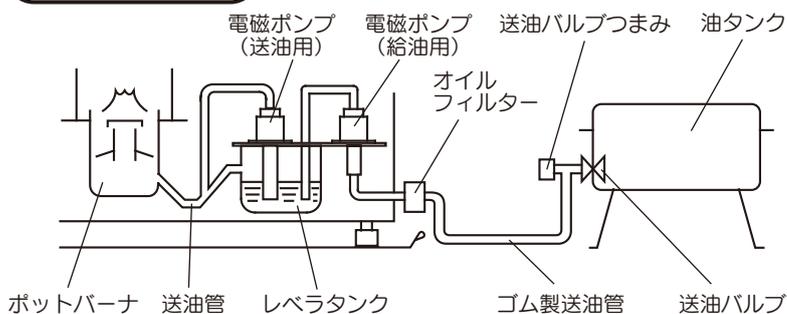
13 仕様

型式の呼び	FF-B58H(基本型式 FF-B58F)	FF-B74H(基本型式 FF-B74F)	FF-74H(基本型式 FF-74F)
種類	ポット式・強制給排気形・強制対流形		
点火方式	電気点火式		
使用燃料	灯油(JIS1号灯油)		
燃料消費量	最大	6.68 kW (0.649 L/h)	8.52 kW (0.828 L/h)
	最小	3.70 kW (0.36 L/h)	
発熱量(入力)	最大	24,040 kJ/h	30,670 kJ/h
	最小	13,330 kJ/h	
熱効率	最大	87.0%	
	最小	86.6%	
暖房出力	最大	5.81 kW	7.41 kW
	最小	3.21 kW	
暖房のめやす	温暖地	木造 25㎡(15畳)まで	木造 31.5㎡(19畳)まで
		コンクリート 34.5㎡(21畳)まで	コンクリート 43㎡(26畳)まで
	寒冷地	木造 25㎡(15畳)まで	木造 31.5㎡(19畳)まで
		コンクリート 39.5㎡(24畳)まで	コンクリート 51㎡(31畳)まで
外形寸法(置台を含む)	高さ595mm 幅820mm 奥行428mm		高さ595mm 幅820mm 奥行404mm
質量	39 kg		37 kg
電源電圧及び周波数	100 V 50/60 Hz		
定格消費電力	最大 98/98 W (点火初期に短時間発生)		
50/60Hz	燃焼時 25/28 W	燃焼時 27/29 W	
待機時消費電力	0.8 W		
給排気筒の型式の呼び	QU4-3		
給排気筒の呼び径	D40		
給排気筒の壁貫通部の孔径	φ75		
排気温度	260℃以下		
電流ヒューズ	5A		
安全装置	対震自動消火装置・不完全燃焼防止装置・点火安全装置・燃焼制御装置・停電安全装置・過熱防止装置(安全サーモスタット)		
その他の装置	排気管抜け検知装置・再点火安全装置・室温異常上昇防止装置・油切れ検知装置・油面異常検知装置		
付属品	工事説明書1・取扱説明書1・本体固定金具2(標準タイプのみ)・置台1・ゴム製送油管(1m)1・ゴム製送油管締付バンド2・背面カバー上1(Bタイプのみ)		

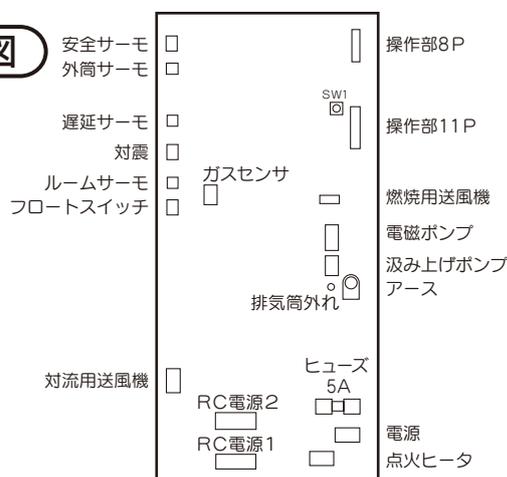
型式の呼び	FF-100H (基本型式 FF-100F)	FF-B100H (基本型式 FF-B100F)	FF-B110H (基本型式 FF-B110F)
種類	ポット式・強制給排気形・強制対流形		
点火方式	電気点火式		
使用燃料	灯油 (JIS 1号灯油)		
燃料消費量	最大	11.5 kW (1.12 L/h)	12.7 kW (1.233 L/h)
	最小	4.63 kW (0.45 L/h)	
発熱量(入力)	最大	41,480 kJ/h	45,670 kJ/h
	最小	16,670 kJ/h	
熱効率	最大	87.0 %	
	最小	86.6 %	
暖房出力	最大	10.0 kW	11.0 kW
	最小	4.01 kW	
暖房のめやす	温暖地	木造 43㎡(26畳)まで コンクリート 58㎡(35畳)まで	木造 46㎡(28畳)まで コンクリート 64.5㎡(39畳)まで
	寒冷地	木造 43㎡(26畳)まで コンクリート 67.5㎡(41畳)まで	木造 48㎡(29畳)まで コンクリート 74.5㎡(45畳)まで
外形寸法(置台を含む)	高さ595mm 幅820mm 奥行404mm	高さ595mm 幅820mm 奥行478mm	
質量	40 kg	42 kg	
電源電圧及び周波数	100 V 50/60 Hz		
定格消費電力50/60Hz	最大 98/98 W (点火初期に短時間発生)		燃焼時 34/38 W
待機時消費電力	0.8 W		
給排気筒の型式の呼び	QU49-3		
給排気筒の呼び径	D49		
給排気筒の壁貫通部の孔径	φ85		
排気温度	260℃以下		
電流ヒューズ	5A		
安全装置	対震自動消火装置・不完全燃焼防止装置・点火安全装置・燃焼制御装置・停電安全装置・過熱防止装置(安全サーモスタット)		
その他の装置	排気管抜け検知装置・再点火安全装置・室温異常上昇防止装置・油切れ検知装置・油面異常検知装置		
付属品	工事説明書 1・取扱説明書 1・本体固定金具 2(標準タイプのみ)・置台 1・ ゴム製送油管(1m) 1・ゴム製送油管締付バンド 2・背面カバー上 1(Bタイプのみ)		

備考 暖房のめやすは、一般社団法人 日本ガス石油機器工業会の算定基準によります。

送油経路図



配線図



14 アフターサービス

保証について

- このコロナ密閉式石油ストーブには保証書がついています。(裏表紙に印刷されています。)
- 「お買いあげ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店からお受け取りになり、大切に保管してください。
- 保証期間はお買いあげいただいた日から1年間です。
- 次のような原因による故障および事故につきましては、保証の対象になりませんので注意してください。
 - 変質灯油や不純灯油などの不良灯油、また灯油以外の燃料使用による故障や事故
 - 誤った使用方法による故障や事故

修理を依頼されるとき

- 本書の「故障・異常の見分け方と処置方法」(18ページ)の項に従って調べても良くならないときは、電源プラグを抜いてお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご連絡ください。
- ご連絡いただきたい内容は次の通りです。
 - 品名：コロナ密閉式石油ストーブ
 - 型式の呼び：本書「仕様」欄(19・20ページ)に記載
 - ご購入日
 - 故障状況(できるだけ具体的に)
 - ご住所・お名前・電話番号
- 修理に際しては、保証書をご提示ください。保証期間中であれば保証書の規定に従って無料修理させていただきます。
- ご不明な点や修理に関するご相談は、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

■保証期間が過ぎているときは

- お買いあげの販売店にご相談ください。修理によって使用できる製品についてはお客様のご要望により有料修理いたします。
- 修理料金は、技術料、部品代、出張料などで構成されています。
 - 技術料は、診断・故障箇所の修理、部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
 - 部品代は、修理に使用した部品および補助材料代です。
 - 出張料は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

■補修用性能部品の保有期間

- 石油ストーブの補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)の保有期間は製造打ち切り後7年です。

15 据付け・移設

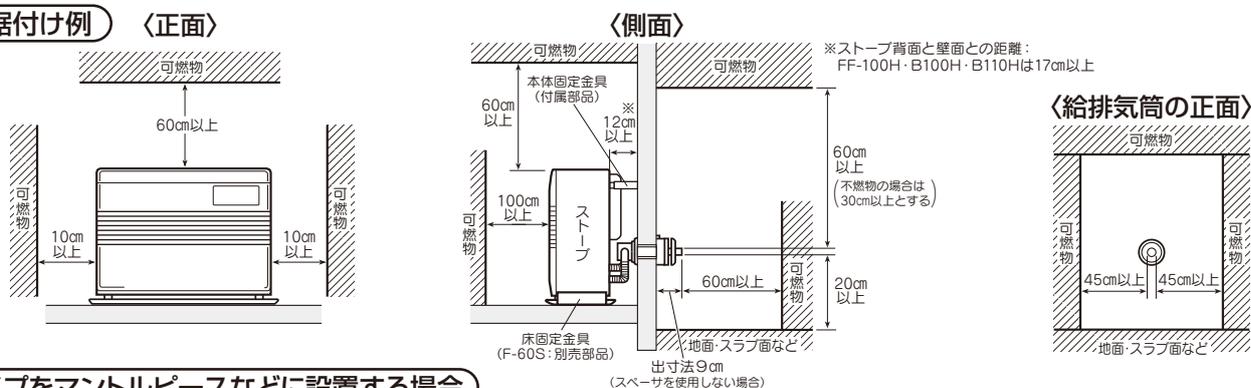
据付け・移設工事はお買いあげの販売店に依頼する

据付けや移設工事はお買いあげの販売店または設置業者に依頼して、お客様ご自身では行わないでください。

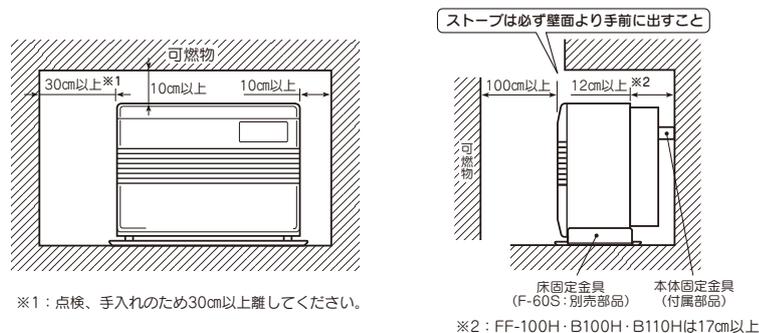
据付け場所の選定および標準据付け例

据付けについては、火災予防条例、電気設備に関する技術基準など法令の基準があります。工事説明書の「特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください）」をお読みになり、お買いあげの販売店または据付け業者とよくご相談ください。また、「標準据付け例」については、下図を参照してください。

標準据付け例



Bタイプをマントルピースなどに設置する場合



●ただし、不燃物の場合でも、保守点検と性能維持のために可燃物と同じ離隔距離にしてください。

●この設置方法は防火性能認証委員会により認定認証されたものです。

上方	側方	前方	後方
10cm以上	10cm以上	100cm以上	10cm以上

●標準タイプをマントルピースなどに取り付けないでください。

給排気筒を延長する場合の注意

給排気筒を延長する場合は、3m3曲がり以下で取り付けられる場所を選定してください。

積雪地区における注意

積雪が多い地方では、積雪時に給排気筒が雪でふさがれないような取付場所を選定してください。また、風がよどむような場所では、排ガスを再度吸いこんで不完全燃焼を起こすことがあります。

据付け後の確認

据付けが終わりましたら、もう一度、工事説明書の「特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください）」をお読みになり、工事説明書に記載されているとおり据付けられているか確認してください。

試運転

試運転は、お買いあげの販売店または据付け業者とごいっしょに必ず行ってください。

1. 運転準備（☞ 7・8ページ）

- 油タンクに灯油（JIS 1号灯油）を給油してください。
- 油タンクの送油バルブおよび屋内コックが開いていることを確認してください。
- ストーブの置台の上や送油管の接続部に、油のたまりや油漏れがないか確かめてください。
- 運転ボタンが「切」になっているか確認してください。
運転ボタンを「入」のまま電源プラグをコンセントに差しこむと、**FF**が表示されます。この場合は、一旦運転ボタンを押しもどしてください。
- 電源プラグをコンセントに差しこんでください。
●**▲注意** 電源プラグは、コンセントに根元まで確実に差しこんでください。

2. 運転（☞ 9ページ）

- 運転ボタンを押してください。
- 運転ランプが点灯し、約2分後に点火します。
 - 点火後約7分対流用送風機がまわり温風が出ます。

3. 消火（☞ 10ページ）

- 運転ボタンを押しもどしてください。
- 運転ランプが消灯し、約15分後に燃焼用送風機・対流用送風機が停止します。

初めて使用するときは…

- 初めて運転するときは、ストーブ内のレバラタンクに灯油が溜まるまで**FF**（油切れ検知装置作動）が表示される場合があります。**FF**が表示された場合は、ストーブの置台に灯油が漏れていないことを確認してから運転ボタンを押しもどして**FF**を解除し、もう一度運転ボタンを押して、ストーブが点火することを確認してください。再び**FF**を表示した場合は、上記の手順を再度繰り返し、ストーブが点火することを確認してください。※運転ボタンを押しもどしても**FF**が解除できなくなった場合は、電源プラグをコンセントから抜いてから、再度差しこむと**FF**が解除されます。
- ストーブ内の送油管に灯油が満たされていませんので、炎が立ち消えることがあります。この場合は、一旦消火して冷めるのを待ってからもう一度点火してください。
- 初使用時はストーブの防錆油や塗料などが焼けて、煙やにおいが出ることがあります。窓を少しあけて部屋の換気をしながら、大火力で半日から1日程度運転してください。また、小鳥や小動物などに影響する場合がありますので、この間は部屋に入れないでください。

16 お客様ご相談窓口



お客様ご相談窓口

修理サービスや製品についてのご相談は型式名をご確認の上、お買いあげの販売店または下記の窓口にご依頼ください。

電話番号やアドレスは変更する場合がありますのでご了承ください。

コロナサービスセンター（全国共通番号 365日24時間受付）

TEL フリーダイヤル  **0120-919-302**

携帯電話 ナビダイヤル  **0570-550-992**

ナビダイヤルの通話料はお客様負担となります。

修理・アフターサービスに関するお問い合わせ

<https://www.corona.co.jp/support/service/>

■365日24時間修理依頼ができます。

部品保有年限が経過している製品は受付しないこともあります。

右記QRコードからアクセスできます。



QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



コロナ公式オンラインストア

お客様ご自身で簡単に交換いただける純正部品、別売部材を販売しております。製品内部の部品や交換の際に資格や技術が必要となる部品などは販売しておりません。

補修用性能部品の保有期間が過ぎている部品は、取り扱いを終了している場合があります。下記アドレスページ内の対応型式をよくご確認ください。



公式オンラインストア

CORONA STORE

<https://ec.coronaweb.com/>

(コロナ公式ホームページからもアクセスできます)



株式会社 **コロナ**

〒955-8510 新潟県三条市東新保7-7

TEL(0256) 32-2111 (代表)

ホームページ <https://www.corona.co.jp/>

コロナ 石油ストーブ保証書

型式	ご購入機種に○を付けてください		
	FF-B58H	FF-74H	FF-B74H
★お客様様	お名前 様		
	ご住所 〒 (-)		
電話 () -			

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
お買いあげの日から左記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買いあげの販売店に修理をご依頼ください。

●ご販売店様へ
お買いあげ日、貴店名、住所、電話番号をご記入の上(★印欄に記入のない場合は、無効となります)、本書をお客様へお渡しください。

★お買いあげ日	年 月 日	★販売店	住所・店名
保証期間	対象部分	★販売店	電話 () -
期間 (お買いあげ日より)	<div style="border: 2px solid red; padding: 10px; text-align: center;"> <p style="font-size: 2em; color: red;">見本</p> <p>1年</p> </div>		

●お客様へお願い
お手数ですが、ご住所、お名前、電話番号をわかりやすくご記入ください。
販売店の記載がないときは、それを証明する領収書などが必要となりますので、一緒に保管してください。

《無料修理規定》

- 取扱説明書、本体表示等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間中に故障した場合には、お買いあげ販売店が無料修理致します。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、お買いあげの販売店に依頼してください。なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行なった場合には、出張に要する実費を申し受けます。また、本品を直接送付される場合の送料は、お客様の負担となります。
- ご転居の場合は事前にお買いあげ販売店にご相談ください。
- ご事情により、本保証書に記入してあるお買いあげ販売店に修理がご依頼できない場合には、お客様ご相談窓口(本書22ページに記載)にお問い合わせください。
- 次の場合には保証期間内でも有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - (ロ) お買いあげ後の取付場所の移動、輸送、落下等による故障および損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害および、変質灯油や不純灯油などの不良灯油、異質油(灯油以外の油または混入)による故障および損傷
 - (ニ) (FF-B110H以外の機種) 業務用としての使用、車両、船舶への搭載など一般家庭用以外に使用された場合の故障および損傷
(FF-B110Hのみ) 一般用以外(例えば、温室暖房や車両、船舶への搭載)に使用された場合の故障および損傷
 - (ホ) 本書にお買いあげ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
通信販売などでご購入したときは、商品の送り状・領収書などの提示がない場合
 - (ヘ) 本書の提示がない場合
 - (ト) 点検整備、および消耗品(Oリング、各種パッキン類、ゴム製送油管)の交換をされる場合
 - (チ) 定期点検の費用
- 本書は日本国内においてのみ有効です。 This guarantee is valid in Japan only.
- 本書は再発行致しませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- ※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従ってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口(本書22ページに記載)にお問い合わせください。
- ※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは「アフターサービス」のページをご覧ください。
- ※アフターサービスや製品についてのお問い合わせは、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口(本書22ページに記載)にお問い合わせください。

株式会社 **コロナ**

〒955-8510 新潟県三条市東新保7-7
TEL(0256) 32-2111 <代表>

ホームページ <https://www.corona.co.jp/>